

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和2年12月16日 午後7時00分から午後8時26分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、池内万雄委員、金井修一委員、金井律子委員、小山和博委員、小山ひろえ委員、桜井敏雄委員、城下昌史委員、鈴木三千夫委員、滝沢友子委員、橋詰明德委員、橋詰正江委員、樋沢茂委員、宮下覚委員、依田せつ子委員 【欠席委員4名】
5 市側出席者	大平地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、小山市民サービス課長、佐藤産業建設課長、宮下商工観光担当係長、芳池丸子・武石上下水道課長、坂部地域政策担当係長、鈴木地域担当、増田主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年12月 日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (金子副会長)
2 あいさつ (池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 武石スマイル号に対するアンケート調査の結果について【住みよい武石をつくる会】 (健康・福祉・体育部会長から提案説明) アンケート結果についてはご覧いただき、住みよい武石をつくる会から武石地域協議会への提案として聞いてほしい。 武石地域にとって地域公共交通が一番の課題と考える。 高齢化が進む中で高齢者事故率が高いことから、免許返納者が増えることにより、買い物、通院ができなくなり、さらに近い将来には路線バスの撤退が予想され、通学にも支障が出てくる。 今後、さらにデマンド交通利用が求められてくるが、カバーしきれないと思う。また、住みよい武石をつくる会の中の部会として問題を解決していくには荷が重く、各部会の代表者により進めていくこととし、さらに、武石地域協議会・福祉関係機関・高齢者クラブ連合会（役員には説明して了解を得てある）・自治センター等を含め、地域住民参加により地域全体で方向性を出さなければ進まない課題である。また、武石地域だけの課題でもないことから、丸子地域（循環バス）・本庁（地域交通対策課）そこへ長和地域（依田窪病院）も加え上田地域全体でプロジェクトチームを立ち上げ、対策を研究・検討し、そして、上田市議会とも意見交換をしながら進めることが必要。 武石地域では「小さな拠点づくり事業」を進めているので、そこでの対策の議論・検討が必要と思う。アンケート結果では、「武石スマイル号」の利用者は年々減っているし、75パーセントの住民は利用していない。 武石地域協議会としても取り組んでほしい課題である。
【質問・意見等】 (会長が資料9ページの提言内容を基に各委員に発言を求める) (委員) 自分の住居の周りを見たとき、70代から90代の高齢者世帯が多く、同居する子供たちはいない。その方々が体調を崩したときには、近隣に生活している家族か親戚が病院への送迎を行っている

る。近隣に家族や親戚がいない高齢者は、近所の車の運転ができる人に頼んでいる。近くに商店や病院もないことから、車での移動手段しかなく、高齢者自身の健康と生活を維持するための、日常の買い物や通院等に苦労しているのが実情で、また、「自分たちの生活は自分たちで守らなければならない」という苦しい現状の中で、将来に不安を持つ60代以下の住民も多い。

今後プロジェクトチームを立ち上げ検討していくということだが、どこが主体となって総括し進めていくのか。

(住みよい武石をつくる会部会長) 武石地域自治センターが主体だと思う。

(センター長) 住民組織だけのプロジェクトチームではなく、自治センターも入り方向性を持って進めていきたい。武石のデマンド交通は有料運営であり、法令等の問題もありすべての要望・意見を取り入れることは難しいが、まとめていきたい。

武石のデマンド交通は大屋駅まで乗り入れているが、丸子の循環バスは路線バスと競合するため乗り入れられないという実情があり、それぞれの地域に課題があるため、行政側として、この地域交通施策については、個別では難しいと考え、市からは武石・丸子・本庁。そこへバス・タクシー等の交通事業者に入っただき、全地域一体となって、さらには依田窪病院がある長和町にも入ってもらい交通施策を進めていく予定で、来年早々には協議会を立ち上げ、検討を進め、再来年の4月には新しい運行ができるよう進めていきたい。

(委員) 武石地域だけではなく依田窪全体として取り組む必要があると思うが、武石地域内の取り組みを行う住みよい武石をつくる会では、プロジェクトチームには何団体で、何名くらい的人员で進めていくか具体的な案はあるのか。

(住みよい武石をつくる会部会長) ①武石地域協議会②住みよい武石をつくる会③高齢者クラブ連合会④福祉関係機関の4団体とし、それぞれ2名から3名程度で、全体で8名から12名。そこへ自治センターも入っただき進めることが良いと考えている。

今、センター長から行政として協議会を立ち上げ取り組んでいくと聞いたが、今まで個々で取り組んでいたが、思うようには進んでいない状況であった。今後は武石地域自治センターが主体となって、行政と住民組織、地域全体でチームを作り問題を解決していくしかない。

(会長) 先ほどの行政主導の協議会へ地域住民も参加することはできるのか。

(センター長) 地域住民の課題であるため、当然住民の代表にも入っただき進めたい。

(会長) 行政が主導し来年早々に立ち上げる協議会へ、武石地域の住民団体の代表者が参加できるよう準備態勢を整えましょう。

(住みよい武石をつくる会部会長) 「小さな拠点」づくりプロジェクト会議への参加団体は住みよい武石をつくる会の代表者と武石地域自治センターの係長以上で組織しているが、どのような内容で進めているのか。

(市) 自治センターと住みよい武石をつくる会、自治会と地域内の有志も参加している。

自治センター職員は毎回係長以上の職員全員が出席するものではなく、住民の皆さんが課題を洗い出す中で、関係する係長が出席して対策の検討・協議を進めている。

(会長) 住民組織が多く、何を協議・検討しているか分かりにくい面もあるが「小さな拠点」づくりプロジェクト会議は「自治」が切り口で、地域住民自治をどう進めるかが議論の場であり、「地域協議会」は市の委託を受け市からの諮問に対し審議し答申をしていく機関と認識しており、協議会として「小さな拠点」づくりプロジェクト会議への参加はしてはいない。

その「小さな拠点」づくりプロジェクト会議として、地域交通の課題をどうするか議論をして

いくことも一案。

「小さな拠点」づくりプロジェクト会議の進捗状況はどうか。

(市) 進んではいない。

(すみよい武石をつくる会部会長) 「小さな拠点」づくりプロジェクト会議はどこが主導でどのように進めているのか。

(市) 内閣府が「小さな拠点」づくり事業として認めた地域運営組織に対し、住民の皆さんが、日々の生活の中で、様々な課題や活性化のために協力して進めたいことを自ら解決するために立ち上げた事業を支援する補助制度で、行動は地域住民が行い、国への申請業務等、事務作業は自治センターがサポート・バックアップをする仕組みで、運営主体は住民である。

(委員) 「小さな拠点」づくりプロジェクト会議もすみよい武石をつくる会も武石地域協議会も同様なことを進めているような気がするが……。

(市) 考え方は同じかと思うが、「小さな拠点」づくりプロジェクト会議を立ち上げ、地域の課題に対し住民が運営組織を作り解決に向けた自主的な行動を促すようすみよい武石をつくる会へ問いかけたが、「現段階では進める力がない。」とのことで、現在は止まっている状況にある。ホームページを開くと、先ず国土交通省のページが出る。国土交通省では他省に先行して地域課題の解決に向けた事業を進めているが、省庁を超えたメニューは様々あり、今武石では勉強をしている段階で、小さなことから進めようとしている状況。

(すみよい武石をつくる会部会長) 課題である地域交通については、地域内の各組織が個別に進めるのではなく、自治センターが主体となって地域内の組織を集約（それぞれの代表者が参加）した取り組みが必要と思う。

(会長) 自治センター長から報告があった、行政側が立ち上げる協議会へ我々武石地域の代表者が参加して検討・研究・議論していくことが一番実効性があると思う。行政側としての一定の方向性が出たところで、武石地域自治センターが主導して、武石地域の地域協議会を含む各団体が集まり検討・協議する体制が良い。

すみよい武石をつくる会の部会長の発言のとおり、スリムな組織で進めるべき。

(すみよい武石をつくる会部会長) 賛成する。

(会長) センター長その方向で進めてよいか。

(センター長) 検討する。

丸子地域では、10年前から「丸子地域協議会」で部会を立ち上げ、検討・研究をしてきたが、運営に対し事業者との協議・調整が難しく進まない状況にある。

今回やっと事業者も参加した広域的な協議会を立ち上げ進めていくので、地域住民も参加の方向で検討するが、参加したら積極的な検討・議論を期待したい。

(会長) 色々聞くなかで、交通事業者が地域の交通をどうしていくのかの使命感・思いが伝わってはこない。

行政側が立ち上げる協議会へやっと交通事業者が参加するとのことであり、来年1年間でどこまでまとめ上げられるか不明だが、一定の方向性が示されると思う。武石地域の代表者も参加して、行政だけに任せるのではなく、積極的な発言・検討・研究をお願いしたい。

すみよい武石をつくる会でも、本日の協議会での方向性を報告し、議論を進めてほしい。

すみよい武石をつくる会部会長に聞くが、9ページの提言内容を見ると、要望的な項目になっているがどうか。

(すみよい武石をつくる会部会長) アンケート結果から見える課題を部会として記載しただけである。

(会長) アンケート結果では、現状は家族に頼る高齢者が多いが、自分で運転できる人も将来への不安の中で公共交通（スマイル号）に頼るしかないことが考察できるので、地域公共交通の役割・体制をしっかりと捉えて進め、上田市へ提言していくことが必要。

(2) 岳の湯温泉雲溪荘のあり方について【産業建設課】

【質問・意見等】

(会長) 前回、雲溪荘の利用促進を図っていく方向でまとめ、自治センターで作成したパンフレット中のGOTO イート・GOTO トラベルの内容が分かりにくいと、改良を加えることについて一任いただき、作成したパンフレットを委員に配布してある。「使って残そう雲溪荘」と題してコロナ禍もある中で、雲溪荘の運営状況の危機感を記載し、裏面にはGOTO イート・GOTO トラベルの利用特典を明確にして、地域と関係団体へ配布した。しかし配布した直後に国はコロナ蔓延防止のためGOTO トラベルを1月11日まで一時停止してしまった。GOTO イートは使えるとのことだが、GOTO キャンペーンがあってもなくても、地域として雲溪荘を利用する方向性には変わりがないので、協力をお願いする。エリアトークで状況を住民に周知する。

また、前回指定管理者から回答がなかった項目について今回示された。

[続いて資料2の内容を会長が詳細に考察する。]

さて、今後地域協議会としてどうするか、地域の皆さんに利用に向けた周知を図る予定であったが、残念ながら国の方針によりコロナ感染予防により促進が図られないが、日帰りでもよいから利用して、1月11日以降については国の状況を見て作戦を考えていく。

雲溪荘に焦点を当て検討・議論してきたが、「うつくしの湯」も同じ状況にあり、これも経営改善に向けての大きな課題であり、今後検討の対象としていかなければならない。

番所ヶ原スキー場については、降雪があったので今後は期待したいが、皆さんも誘い合っただけの利用をお願いしたい。

雲溪荘の経営状況については、年度途中で具体的な数値が示されないが、今後明確な数値資料が示された時点で検討・議論していきたい。雲溪荘の主目的は観光・宿泊だと思うが、事業団からの収支資料を見る限り、最低限の支出で運営していて、且つ収入がマイナス状態にあるということは、売り上げが伸びないからであり、どう増やすかしかない。売上金を1億円にすれば解決できるはずだ。地理・地形・交通の課題はあるが事業団では、色々な売り上げを伸ばす策は講じているがなかなかヒットしない状況にある。今後は雲溪荘自体の売り上げを伸ばす対策を検討・議論していきたいと思う。皆さんも色々な対策案を研究していただき、協議会としての対策案として事業団へ提案していき、さらに、「3年後の雲溪荘をどうするのか」に焦点を絞って進めていくことになる。皆さんも資料をもう一度見読み込んでいただき、今まで以上に対策案を考えてほしい。

(委員) 自治会からすれば会合や懇親会等で利用したいが、コロナ禍で思うようにはできない。

地域として盛り上げたい気持ちはあるのに、資料2の中の提案書に「地域住民が協働し集客に取り組むことが望ましい」とあり、指定管理者の回答では、「地域住民と協働した取り組みができていない」とある。私は自治会関係者だが今まで市や事業団からそのような情報提供や相談はされてはいない。誰とされているのか、また、地域とは武石全体かそれとも地元自治会か。今までこの地域協議会に参加させていただき、色々な情報を聞き、課題事項を検討してきたと思うことは、自治会への情報提供等がない。自治会と協働した形とするならば、もう少し自治会を前面に出してもよいのではないかと思うがどうか。

(会長) 与えられた3ヵ年の間に、地域全体で雲溪荘を支える方法を考えるということで、行政・指定管理者・地域組織が一体となって協議していく課題である。今の発言は委員からの意見として承る。

(3) その他

①第7回地域協議会の日程について

日時：令和3年1月20日(水) 午後7時から 場所：武石地域自治センター 第1会議室

②松くい虫防除 樹幹注入作業について 《武石地域全域公園化構想事業》

期間：令和3年1月13日(水) 14日(木) 15日(金) の3日間

時間：午前9時から正午まで(予定)

場所：武石財産区林(下本入地籍)

申込み：令和2年12月18日(金)までに地域振興課へ(Tel: 85-2824)

(市説明) 平成28年から毎年松林に薬剤を注入し、松くい虫による松枯れ防除対策を実施している。

200~300本の松の木に穴をあけ薬剤注入を行うもので、薬剤は1000本を予定しており、30~40人で行う。

作業員は、地域協議会・住みよい武石をつくる会・自治センター職員・森林整備課・森林組合により行っており、協議会で参加できる方はお願いしたい。

③自治センター長から年末のあいさつ

- ・コロナ対策等市の行政報告
- ・議会報告 武石地域に関する主な議会審議案件報告
- ・武石地域総合センター新築事業の進捗、予算の状況報告 来年3月29日開所式予定
- ・番所ヶ原スキー場の災害復旧工事の進捗状況報告 12月26日オープン予定
- ・地域協議会活動に対する年末のお礼

④会長から年末のあいさつ

- ・協議会の役割は地域の声を市へ届け地域の活性化を図っていくこと
- ・武石地域総合センター見学会での感想
図書室の本棚の角が子供たちの顔の高さにあり危険と思われるので対策を願う

4 閉会(金子副会長)